SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
94	白髪染め	2カ月前に白髪染めを使用したが、その後頭皮のかゆみが止まらない。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品について、アレルギー性接触皮膚炎の原因となることがある酸化染料の分析を行った。その結果、商品に表示のある2種類の酸化染料が検出されたが、いずれの成分も医薬部外品として規定された使用時濃度上限内であった。しかし、アレルギー性接触皮膚炎は原因物質の濃度とは関係なく発症すると言われ、また、何度も接触した後に発症することもあることから、相談者の症状は酸化染料によるアレルギー性接触皮膚炎である可能性は否定できない。
95	染毛料	初めて使用した染毛料が汗で色が落ち、衣類が染まってしまった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品を取扱説明書に従って染毛した場合、市場で販売されているヘアマニキュア(化粧品)と比較して移染しやすいということはなかった。しかし苦情品及び苦情同型品で、染毛直後のすすぎが少なくて毛髪あるいは拭き取る布が濡れている場合は、布に移染しやすい傾向がみられた。なお、苦情品の添付冊子には「水気が残っていると、寝具や服にカラーが付着する可能性があります」という表示があった。
96	染毛料	10分で染まるという染毛料を購入し使用したところ、白髪が染まらなかった。商品に問題がないか調べてほしい。	白髪混じりの毛髪に苦情品を使用して、染まり具合等をモニターテストで評価した結果、1回の染色と比較すると、3回染色する方がやや染まっているとの評価であったが、3回染色してもモニターは不満と感じる仕上がりであった。また、3回使用しても広告の1回使用した例のような仕上がりにはならなかった。苦情品は、白髪が全く染まらないということはなかったものの、その程度がわずかなため何回も繰り返し使用していかないと効果を実感しづらい商品であった。
97	染毛料	染毛料を使用したが、白髪が染まらなかった。商品に問題ないか調べてほしい。	10%の白髪が混じったテスト用毛束に苦情品、苦情同型品、苦情品と同様な使い方をするカラートリートメントの参考品2銘柄を使用して、染まり具合等をモニターテストで評価した結果、どの銘柄でも1回使用した場合よりも、3回使用した方がより染まっているとの評価で、苦情品及び苦情同型品では3回使用した場合に、おおむね満足と感じる仕上がりとなった。以上、苦情品は繰り返し使用することで、白髪の染まり具合が良くなるものと考えられた。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
98	ロールブラシ	ロールブラシに髪が絡まり取れなくなった。ロールブラシに問題がないか調べてほしい。	苦情同型品は、とかす際に絡まりやすく負荷がかかる傾向がみられた。しかし、「ご使用中に髪がもつれる場合は無理に使用しないで下さい。」との注意事項があったため、いきなり巻きつけたり、深く絡ませたりせず、あらかじめ浅めにとかしたり、毛先の方から徐々にとかしていくなどの注意が必要であると考えられた。
99	ヘアドライヤー	半年前から手が腫れて赤くなり、2カ月前から手にヘアドライヤーの塗料に含まれていると思われる金属の粉が付着するようになった。ヘアドライヤーのグリップ部に問題がないか調べてほしい。	苦情品グリップ部の金属光沢塗装を調査したところ、銀（相談者が認識しているアレルギー物質）は検出されず、アルミニウム、チタン、クロム、銅が検出された。グリップ部やその表面塗装に配合された化学物質により接触皮膚炎を発症した可能性も考えられるが、原因が金属である場合、アルミニウム、チタン、クロム、銅などについてパッチテスト等で感作しないか確認する必要がある。
100	繭玉	繭玉を使用して小鼻や頬のマッサージをしたら顔面などが腫れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品を湯に浸漬すると、タンパク質が溶出することが分かった。蚕由来のタンパク質がアレルギーの抗原になるとの報告があることから、タンパク質が顔面の腫れの原因物質である可能性はあるが、本テストのみで原因を断定できない。また、参考品からも苦情同型品と同程度の溶出がみられ、繭玉に共通してみられる現象であると考えられる。一方、参考品には「肌に合わない場合は使用を中止する」旨の表示があったが、苦情品にはそのような注意表示がなされていなかった。
101	部屋用除菌剤	蓋を開けると塩素系の刺激臭が部屋中に充満した。発生する塩素等の濃度が身体等に問題がないか調べてほしい。	苦情同型品からは二酸化塩素及び塩素が多く発生しており、このいずれもが粘膜刺激作用を持ち、濃度が高くなると呼吸困難や気管支炎等の健康影響があるとされている。使用条件によって二酸化塩素の空気中濃度は、米国産業衛生専門家会議（ACGIH）作業環境基準の管理濃度と同等かそれ以上となるおそれがあり、使用には注意が必要であった。
102	花粉防御用眼鏡	花粉防御用眼鏡をかけた児童が運動場でぶつかり眼の上にけがをした。花粉防御用眼鏡に鋭利なところはないか調べてほしい。	シャープエッジテスターで苦情品を調べたが、鋭い縁を確認することはできなかった。また、縁の部分の形状も参考品に比べて極端な違いはなく、苦情品が特に危険であったとは言えない。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
103	湯たんぽカバー	湯たんぽを購入の際に専用の布製カバーも購入し、それに湯たんぽを入れて使用したところやけどを負った。布製カバーのファスナーの金具（スライダー）が原因か調べてほしい。	60℃のお湯を入れた場合のカバーの温度は 6 時間後も 44℃前後であり、就寝時に布団の中に入れて長時間使用したため、低温やけどを負ったものと考えられる。なお、苦情品を短時間の暖房器具として使用することもあることから、スライダーの引手がカバーからはみ出さないようにすることが望ましい。その他、「湯たんぽ」だけでなく、「湯たんぽカバー」にも「低温やけどに注意」や「寝る前に布団から出す」等の注意事項を認識しやすい方法で表示することが望まれる。
104	首用冷却ベルト	首を冷やす冷却ベルトを購入したが、冷たさの持続時間が表示より短い。表示に問題がないか調べてほしい。	苦情品の保冷時間を、「携帯用保冷具」の JIS 規格に準じて調べた結果、表面温度が JIS で規定されている 10 ℃及び 20℃になるまでの時間が、表示の約 2 時間を下回り、表示の冷却時間以下であった。カバー表面の温度が 20 ℃では冷たさを感じないというわけではないが、より冷たい状態から連続して使用していて体温との温度差が小さくなると、熱の移行が遅くなるため、人によっては冷たく感じにくくなる可能性は考えられる。
105	くんじょう剤	ゴキブリ駆除用くんじょう剤が表示時間より早く煙が上がり、煙を吸ったため体調不良になった。商品に問題がないか調べてほしい。	同型品により再現テストを行ったところ、発煙までの時間は平均 56 秒で、±10%程度の幅はあるものの、実施した範囲内では極端に短い時間で発煙した製品はなかった。また、使用する水量が多い場合や開封後時間を置いた場合や殺虫剤のペレットが振動等により砕けていた場合を想定して発煙までの時間を調べたところ、10 秒前後短縮されるという結果が得られたが、相談者の経験したような極端に短い時間（10 秒くらい）で発煙するような状況は再現できなかった。
106	ダニを捕獲するシート	ダニを捕獲するシートを 3 カ月間使用したが効果が感じられない。ダニが捕獲されているかどうか調べてほしい。	苦情品からは 10 匹程度の少量のダニが確認された。一方、苦情同型品はダニを誘引し、その結果ダニが死ぬことが認められた。商品を使用する環境に存在するダニ数や設置時間などの条件により、捕獲されるダニ数は変わると考えられた。
107	シール帳	購入したシール帳より刺激臭がし、使っていた子供がにおいで気分が悪くなった。においの原因を調べてほしい。	におい成分を調べたところ、トルエン、エチルベンゼン、ナフタレン、キシレン、インデン、スチレンなどが検出され、苦情品のにおいはこれらが混合したものであると考えられた。これらはインキや接着剤の溶剤や合成樹脂の原料としても使われる物質で、粘膜を刺激する臭気を有し、吸入すると頭痛、めまい、吐き気を催すおそれがあった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
108	瞬間接着剤	チューブ入りの瞬間接着剤を使うために、シャープペンシルの先で口を突いて開けたら接着剤が飛び出し目に入り、左目を負傷した。商品に問題がないか調べてほしい。	チューブ容器の口をシャープペンシルで開封する際に必要な力を調べたところ、苦情同型品が参考品に比べて硬くて開けづらく、開けるためにより大きな力が必要ということはなかった。表示された方法で開封すれば中身が飛び出る可能性は非常に低いと考えられた。以上より、苦情同型品の容器や使用方法を含めた表示には問題があるとは言えなかった。
109	ハードディスクの変換アダプター	新品のハードディスク変換アダプターに付属しているACアダプターが発煙・発火し、カーペットがとけた。原因を調べてほしい。	苦情品はACアダプターの回路に異常が発生し、過電圧状態となり、電子部品に過剰な負荷がかかって焼損に至った可能性が考えられる。しかし、相談者の使用状況を基にした再現テストや異常状態を想定したテストの結果、発煙等の現象は再現せず、ACアダプターに異常が発生した原因の特定には至らなかった。
110	モデム	モデムから火花が出て周辺機器が壊れた。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品は落雷によって高温になったものと推察された。一般的にモデムは、雷の対策はとられておらず、電源系や電話線などそれぞれで雷サージの対応を行うか、雷を感じた場合にはコンセントや電話線のコネクタを外すなどの対応が望まれるが、苦情品の説明書には、電話線から浸入する雷に関する注意表示が書かれていなかった。
111	ビデオカメラ	ビデオカメラのグリップ部が熱くなり、手のひらが赤くなった。商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品で連続録画撮影したときに、手のひらが接触し得る個所で温度が高くなるのは本体底面のネジ及びその周辺であり、最も高温となるネジの温度は、撮影開始から約95分で45℃であった。録画撮影中には、ズーム調整、手の持ち位置の移動、撮影開始ボタンのON/OFF、必要によっては主電源のON/OFFやバッテリー交換などの様々な動作を伴うことから、この温度では直ちにやけどを負うとは考えられず、また、低温やけどを負う危険性も低いと考えられ、商品に問題があるとは言えない。
112	テレビ	テレビ内部から火が見え、焦げ臭いにおいがした。危険なので原因を調べてほしい。	製造時からフライバックトランス内部の高電圧となる内部導体の上部に、半田などと考えられる異物があり、ケース表面の近傍に達していたこと、及び、経年によると考えられるケース表面のクラックなどにより絶縁性能が低下していたことが原因で、スパークが発生したものと推定される。なお、異常な高電圧を検知して主電源を遮断する回路が内蔵されているため、火災に至る可能性は少ないと考えられる。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
113	アンプ	スピーカーから爆発(異常) 音がしてアンプの背面から白煙が出た。発煙した原因を調べてほしい。	苦情品から白煙が生じた原因は、アルミ電解コンデンサが開弁し、アルミ電解コンデンサ内部の電解液が気化したため生じたものと推察される。アルミ電解コンデンサに異常が生じる原因には、品質不良のほか、設計上の問題として、ヒートシンクなどの高温となった排熱がアルミ電解コンデンサを加熱してしまい寿命を短くする、または過電圧などが挙げられるが、原因が複合的なこともあり特定できなかった。
114	ルームランナー	購入したルームランナーが数カ月で故障して、走っている途中でベルトが止まり、新品に交換してもらったが同様に故障した。危険であるので、原因を調べてほしい。	苦情品は歩行中にベルトが停止することがあり、前部ローラーとプーリーの嵌合が緩くプーリーが空回りしていることが原因であった。歩行している途中でベルトが止まると歩行者はバランスを崩して転倒する危険性があるので、プーリーとローラーの嵌合を強固にする必要があると考えられる。
115	ウォーキングマシン	ウォーキングマシンを購入したが、自走式で歩行部分のベルトが重く動かないため、歩行できなかった。商品に問題はないか調べてほしい。	苦情品は参考品と比べると、歩行ベルトを動かし続けるためには大きな力が必要で、モニターテストでも「重い・やや重い」と評価する人が多数であった。このことが使用感に影響し、歩き出す時に歩行ベルトを重く感じたと考えられる。
116	ウォーキングマシン	購入したウォーキングマシンの速度が勝手に変わるため 2 度交換した。交換した商品も同じ状態で危険である。速度が勝手に変わる原因を調べてほしい。	速度が勝手に変わる原因は、歩行の際に蹴り出す力で生じるベルトの滑りであった。この商品は強く蹴り出すとベルトが滑ることがあるので、歩行する場合には設定したベルトのスピードに合わせる必要があると言える。
117	健康機器	温熱マットを使用したらやけどをした。商品に問題がないか調べてほしい。	当該品は温度調節機能がなく、ヒートパック（10 枚）の表面温度が 51℃（2～4 分で低温やけどを負うと言われている温度）以上となる時間が、使用する約 20 分の間に 2 分 3 秒～4 分 53 秒持続することから、使用時間内で低温やけどを負う可能性が高いものであった。
118	水泳用ゴーグル	水泳用ゴーグルの装着時にゴムバンドにかけていた左手が外れ、水泳用ゴーグルの端部が左目に当たり視力が低下した。水泳用ゴーグルに問題がないか調べてほしい。	苦情同型品及び参考品 3 銘柄のいずれもアイカップを両手で斜め前方等に引っ張り、誤って片手を離すと端部が眼球を直撃することから、苦情品が特に問題であるとは言えない。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
119	ラジコンヘリコプター	ラジコンヘリコプターを付属のUSB で充電したらパソコンが壊れた。ラジコンヘリコプターに問題がないか調べてほしい。	苦情品の USB ケーブルには異常が認められたが、苦情同型品では申出の現象は確認できなかった。苦情品はパソコン及びコントローラーを使って充電したときに異常が発生しており、ヘリコプター本体及びコントローラーの問題も考えられるが、提供されなかったため確認することができず、原因の特定には至らなかった。
120	幼児用自動車	玩具の幼児用自動車のバッテリーを充電後、ソファーに置いていたら 1 歳児がバッテリーで手指をやけどした。バッテリーに問題がないか調べてほしい。	サーキットブレーカー端子の金属部が露出していたため、コネクタ端子と接触してショートしたと推定された。
121	玩具のラッパ	おもちゃのラッパを吹いていたら、こんなもの（金属片）が出てきて口に入ったと 6 歳の子供が訴えた。ラッパの部品が脱落し、危険と思われるので、商品に問題がないか調べてほしい。	相談者の子どもの口から出てきたという金属片は、苦情品の中にある金属リードの振動する部分が根元から破断したために出てきたと考えられ、その破断面には疲労破断に特徴的なストライエーションがみられた。また、苦情同型品に実際に息を吹き込んでみたところ、音が出なくなるものが多く、その金属リードを取り出して観察したところ、使用によると考えられる深いひび割れがあり、破断するおそれがあった。なお、苦情同型品を用いて ST 基準に適合するかを調べたところ、適合するものであったが、苦情品のリードは「七三黄銅」からできており、鋭い切り込みがある形状から、疲労破断を起こしやすい構造であると考えられた。
122	電子タバコ	1本のカートリッジで約200回の吸引が可能という電子タバコを購入したが、1 回吸うと煙が出なくなり、交換品も同様であった。問題がないか調べてほしい。	苦情品及び苦情同型品を使用したモニターテストの結果、煙が出なくなったり味が感じられなくなるということはなかった。苦情品及び苦情同型品の本体に電圧をかけ、ヒーター部の温度を観察したが、差はみられず、ヒーター部の温度は通電時間に伴って高くなり通電を終了すると速やかに温度が下がることが観察された。このことから 1 回あたりの吸う時間が極端に短かったり、吸わない間隔が長い場合には本体温度が十分に高くならないため、液の蒸発と煙の発生が起こりにくくなることもあると考えられた。
123	電子タバコ	電子タバコを吸ったら気分が悪くなり、頭が重くなった。ニコチンが含まれていないか調べてほしい。	苦情品のカートリッジにニコチンが含まれているかを調べたが、ニコチンは含まれていなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
124	電子タバコ	電子タバコを使用すると、喉に痛みを感じる。ニコチンが含まれているか調べてほしい。	苦情品と同じ店舗で購入した同型品のカートリッジから、ニコチンが 3ppm（カートリッジ 1 本あたり 0.71μg）検出された。また、カートリッジごとのおおよそのニコチン濃度を調べたところ、分析した 12 本の内、1 本に高濃度のニコチンを含むカートリッジがあったことから、製造管理上の問題がある商品と考えられた。
125	電子タバコ	電子タバコを購入したら、2 回目の充電から煙の出が悪くなり、交換品も同様であった。問題がないか調べてほしい。	苦情品 2 検体のうち、交換品については本体（充電式バッテリー）が正常に動作していなかった。正常に動作することを確認した苦情同型品を用いて、繰り返し充電して正常に動作するかを調べたところ、3 個中 2 個が 1 回目の充電後の使用から蒸気を発生しなくなった。分解して正常に動作するものと比較したが、電池や配線等には違いがみられなかったことから、基盤部分に不具合を生じていると考えられた。以上、この商品には充電によって使用できなくなるものがあった。
126	水槽用ろ過装置	水槽用ろ過装置のパイプが外れて水槽内の水が噴出し、階下の家にも水漏れが及んだ。パイプが外れやすかった原因を調べてほしい。	吸水パイプへのストレーナパイプの挿入が不十分となり得ること、及びモーターを固定する吸盤が外れた場合、モーターの荷重等により、引き抜く力が加わる構造であることが、パイプが外れやすかった原因として考えられる。なお、吸水パイプとストレーナパイプの接続を、ナットで締め付けて接続する構造にすること、あるいはモーターを外部フィルターに内蔵させることなどにより、水漏れ事故を防止する改善が望まれる。
127	工芸用金属シート	アクセサリーなどを作るために使用している工芸用金属シートに鉛の使用が疑われるので調べてほしい。また、仕上げに使用する化学薬品が鉛と反応した場合に、どのようになるか調べてほしい。	苦情品の金属成分を調べたところ、主に鉛と錫が検出され、その分布から鉛を含む合金に錫めっきが施されているものと考えられた。また、年代ものの風合いを出すために黒く変色させる液体は強酸性の溶液で、英語で有毒などの取扱い上の注意表示はあったが、日本語での表記はなかった。
128	金魚鉢	陶器製の金魚鉢で金魚を飼育しているが、金魚が死んでしまう。別の金魚鉢で 1 年半生きてた金魚も、問題の鉢に入れると死んでしまった。金魚鉢から有害物質が出ていないか調べてほしい。	苦情品の金魚鉢に水を溜め 1 週間後に相談者宅から採取した水について、ヒメダカによる生存率試験を行ったところ、7 日間の飼育において生存率は 100%であり、急性的な毒性は認められなかった。また、金魚鉢は陶器製であることから、毒性があり陶器から水に溶出される可能性のあるカドミウム及び鉛を調べたところ、どちらも溶出が確認されなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
129	遮光ネット	遮光ネット（野菜・花用）を購入したが、ネットの目の粗さから表示の遮光率が疑わしい。表示の遮光率が適正か調べてほしい。	苦情品（新）を JIS L1055「カーテンの遮光性試験方法」に準じて測定したところ遮光率は 58.6%であり、表示の「遮光率　約 50%」を満たすものであった。しかし、同じ遮光率の表示の苦情品（旧）は 77.4%と、遮光性能が高かった。「遮光率 50%」であった参考品２銘柄は、それぞれ 84.5%、80.4%であったため、苦情品（新）は遮光性能が低いと考えられるが、公定法がないため表示の適正さについては判断できない。
130	アロマポット	アロマポットを購入し、キャンドルに火をつけたところ炎が大きくなり、消そうとして軽いやけどを負った。問題ないか調べてほしい。	苦情品のアロマポットで指定品及び参考品キャンドルを使用した際に異常燃焼は観測されなかったが、キャンドルによって炎の大きさや燃え方、アロマポットの温度上昇に差異があることが分かった。また、いくつかの条件が重なった場合には異常燃焼するおそれもあり、アロマポットの使用には注意が必要であると考えられた。
131	自動車	約 2 カ月前にスタッドレスタイヤへ交換し、高速道路を走行中に自動車から異常音が聞こえ走行不能になった。前輪タイヤ（運転席側）のハブボルトが破損しており修理した。ハブボルトが破損した原因を調べてほしい。	破面観察の結果、ハブボルトの破損は破壊が徐々に進む疲労破壊であった。全てのアルミホイールのボルト穴にハブボルトのネジ痕があり、参考車両でホイールナットを２回転緩めて走行を続けるとネジ痕が再現できた。このことから、ハブボルトの折れた原因は、取り付けるときの締め付けトルクが不適切であったことが考えられる。
132	自動車	駐車場で自動車が自分の意図に反して暴走し、駐車していた自動車２台に衝突して止まった。原因を調べてほしい。	エンジン回転の制御を行うスロットル、アクセル系を中心とした調査と車載記録装置の記録情報を調べた結果、苦情品に異常は認められず、イベントデータレコーダの記録からアクセル操作により暴走したものと考えられた。
133	オートバイ	オートバイで走行中、突然エンジン内で破裂音がし、白煙が上がった。危険なので原因を調べてほしい。	コンロッドベアリング（エンジン内部にある金属製の軸受け）が焼き付き擦り減ったことにより、コンロッドに過大な負荷がかかりコンロッドベアリングシェル取付けボルトが過大荷重に耐えられず折損し、折損したコンロッドが回転していたクランクシャフトに衝突したため、シリンダーブロックの側面から突き出たものと思われる。焼き付いた要因が、コンロッドベアリングの油膜切れなどによるものと考えられるが、焼き付いた原因の特定には至らなかった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
134	自動車用タイヤ	約 2 年前に購入し装着したタイヤがパンクし、よく見ると大きな亀裂が入っていた。亀裂が入った原因を調べてほしい。	苦情品の前輪は荷重に対して空気圧が不足した状態で使われ続け、後輪は負担が内側に偏っていたために劣化が進み、割れや剥離に至ったものと考えられる。
135	自動車	自動車の燃料タンクに亀裂が生じ、ガソリンが漏れていると給油時に指摘された。燃料タンクに問題がないか調べてほしい。	燃料タンクからのガソリン漏れは、圧力調整装置の上蓋部の亀裂から生じたものと推察される。亀裂は燃料タンクの上面で発生しており、この個所は車両をリフトアップしても直接見ることができず、日常点検や定期点検でも発見することが難しい。
136	子ども用自転車	子ども用自転車で下り坂を走行中に前輪が突然止まり、後輪が浮いて前方に回転して転倒し負傷した。前輪が突然止まった原因を調べてほしい。	前輪が突然止まった原因は、ハブダイナモが破損したことにより、前輪が変形して前ホーク等に接触したためである。なお、ハブダイナモが破損した原因は、引け巣（小さな空洞）による強度低下及び、スポークの張力が強かったことの複合的な要因と考えられる。
137	折りたたみ自転車	走行中に、折りたたみ自転車のハンドルステムのヒンジ部分が破損したため、落車して首筋をひねった。破損した原因を調べてほしい。	破面観察の結果、破損した原因は鋳造時の亀裂による脆性破壊か、繰り返し荷重により疲労破壊か、あるいはこれらが複合的に生じた可能性等も考えられた。
138	折りたたみ自転車	折りたたみ自転車のペダルが折れけがをした。危険なので折れた原因を調べてほしい。	JIS 規格にある動的耐久試験の結果より、苦情品のペダルは繰り返し荷重に対する耐久性が不十分なため、日常の使用で徐々に亀裂が進行して折損したものと考えられる。
139	自転車	1 年半前に自転車を購入し通勤用に使用していた。走行中にハンドルのバーが支柱付近で突然折れたため、転倒・負傷した。破損した原因を調べてほしい。	最初に起点が生じた原因は不明であるが、ハンドルは上側から下側に向かって、使用に伴う繰り返し荷重が作用したことにより、上部に複数の疲労亀裂が発生し、それらが合体しながら進展し、破断に至ったものと推察される。なお、苦情品と同型のハンドルが入手できなかったことから、ハンドル自体の強度が JIS 規格を満足しているか確認することはできなかった。
140	自転車	自転車で走行中にディレーラハンガー（変速器を取り付ける台座）が破損して転倒した。破損原因を調べてほしい。	苦情品が右側に転倒などした際にディレーラハンガーに大きな力が加わって車輪側に曲がり、その後の変速などをともなった走行の際などに、リヤディレーラ（変速器）が後輪のスポークに巻き込まれてディレーラハンガーが破断し、リヤディレーラがバックホークに衝突したものと推測される。
141	自転車	自転車で走行中、歩道の段差を上がろうとしたらフレームが折れた。危険なので折れた原因を調べてほしい。	苦情品は構造的にダウンチューブの下穴近傍に応力が集中しやすいため、シートポストとリアスイングアームの接触等の大きな荷重が繰り返されたことで亀裂が発生し、進行したと推察される。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
142	自転車	購入 1 年後、後輪のノーパンクタイヤのリムが割れ車軸が外れた。危険なのでリムが割れた原因を調べてほしい。	ノーパンクタイヤは通常の空気入りタイヤに比べ荷重を受けたときのリムのひずみが非常に大きく、また、アルミ製リムはステンレス製リムと比較するとひずみが大きかった。このため、苦情品では特に荷重が多くかかる後輪に凹凸路面の通過などによって衝撃が繰り返し加わり、リム穴に亀裂が発生・進行したものと考えられる。
143	幼児2人同乗用自転車	幼児 2 人同乗用自転車で、ロックレバー（停止中に子供を乗せたり降ろしたりするときにハンドルが動かないように固定するもの）を外したら、急にハンドルが右に切れて自転車が倒れた。危険なので商品に問題がないか調べてほしい。	苦情品はバランスを崩しやすい姿勢での操作となるため、操作部がハンドルグリップにあるタイプと比較すると操作性が劣ると言える。また、前部座席に幼児を載せた状態でバランスを崩したときには、車両を支えるのに大きな力が必要であった。
144	電動自転車	購入してまもない電動自転車のチェーンが切れた。危険なので切れた原因を調べてほしい。	苦情品のチェーン自体の強度に問題はなく、使用時にチェーンを破損させるような異物の巻き込みが生じた痕跡もなかった。チェーンが切れた原因は、自転車の製造時に取り付ける作業が不適切でピンの圧入状態が不完全となり、通常使用時に加わる力でピンが抜けてしまったためと考えられる。
145	電動アシスト自転車	レンタルした電動アシスト自転車で走行中に転倒し脳挫傷で入院した。チェーンが外れたためと思うが電動アシスト自転車に問題がないか調べてほしい。	擦過傷はみられたが、車輪への異物の挟み込みの痕跡はみられなかった。グリップシフター（変速器の操作部）の表示と実際の変速位置にずれはなく、ギヤ板と多段フリーホイールのチェーンラインには大きな違いはなかった。実走行試験で、チェーンが外れるなどの不具合が再現することはなく、転倒した原因を特定することはできなかった。
146	ベビーカー	3 カ月前に購入した折りたたみ式ベビーカーのゴム製の足置き（ステップ）部分が切れて外れてしまった。危険なので強度に問題がないか調べてほしい。	苦情品のステップは、苦情同型品とは異なり表面にひび割れを生じ、赤色の異物(主成分がポリウレタン系樹脂)が無数に混じっていた。しかし、苦情品のステップの取り付け強度は、SG 規格に適合していた苦情同型品と同程度の強度があり、破損した原因は不明であった。

SNO	商品名	目的	テスト結果の概要
147	ミニ耕運機	畑でミニ耕運機を使い始めようとしたらエンジンがかからず、ガソリンが漏れていた。危険なのでガソリンが漏れた原因を調べてほしい。	キャブレター内部のフロートバルブホルダーに付着していた茶褐色の汚れにより、フロートバルブとの密着性が不十分となり、フロート室にガソリンが流れ続けたため、キャブレターからガソリンが漏れたものと推測される。なお、茶褐色の汚れは、ガソリンが劣化・変質したもの、あるいはガソリンタンク内部に混入した異物がフロート室内に入り込んだものと推測される。
148	キックスケータ	5 歳の女児がキックスケータに片足をかけた状態で転倒し、ハンドルの端が顔面にぶつかり右ほおが切れた。ハンドルの端の構造に問題がないか調べてほしい。	苦情品のハンドル端部は、樹脂製のカバーが施されているものの、転倒の衝撃でカバーがパイプ内に入り、パイプ端部が露出するため顔面に当たり裂傷を負ったものと考えられる。苦情同型品は、転倒の衝撃でパイプ端部が露出するものと露出しないものがあるので品質管理の徹底が必要である。
149	給湯器	給湯器のお湯が熱くならないので、給湯器を開けてもらったところ、黒煙、ガス臭がひどく不完全燃焼と言われた。危険なので原因を調べてほしい。	苦情品は熱交換器の内部が大量のすすによって閉塞したことにより、不完全燃焼を起こして正常に給湯できなくなったと考えられるが、すすにより閉塞した原因の特定には至らなかった。
150	枕木	訪問販売で庭作りのために購入した枕木のにおいがきつく気分が悪くなった。ベンゾピレンが含まれていないか調べてほしい。	苦情品を調べたところ、「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律施行規則（クレオソート油及びその混合物で処理された家庭用の防腐木材及び防虫木材）」に定められている基準値を大きく超えるベンゾ[a]ピレンとベンゾ[a]アントラセンが検出された。このことより、苦情品は人体に悪影響があるおそれがあり、家庭用として使用するには適さないものであった。
151	玉砂利	黒色の玉砂利(那智石)を購入し、庭に敷いていたら黒色が白くなった。左官屋が玄関に埋め込んだ石(那智石)は黒いままである。白くなった玉砂利が塗装などされていないか調べてほしい。	白っぽい石、苦情同型品それぞれの表面と断面で、主な成分に違いがみられなかったため、表面に塗装はされていないと考えられた。苦情品の白っぽい石と苦情同型品の組成を比較したところ、苦情品の白っぽい石には、苦情同型品の石にほとんど含まれていない緑泥石が含まれていたことから、表面の色が異なる原因は成分の違いによるものと考えられた。
152	シングルレバー混合水栓	システムキッチンのシングルレバー混合水栓に水漏れがあり、床材が変形した。混合水栓に問題がないか調べてほしい。	苦情品の漏水は、シャワーホース自体の劣化が進行していたことに加え、使用過程により生じた変形個所が、長期間の使用により劣化して穴が開いたことが原因と考えられる。なお、取扱説明書の表示からシャワーホースは交換時期に達していたと言える。

資料21

商品テスト分析・評価委員会 委員名簿

●委員（敬称略）

氏名	所属及び役職
石川　正美	神奈川大学 法学部 教授
浦野　紘平	横浜国立大学 環境情報研究院 特任教授
熊谷　なおみ	日野市役所 地域協働課 消費生活専門相談員
小松原　明哲	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部 教授
小山　晴樹	弁護士
谷口　哲夫	独立行政法人 交通安全環境研究所 エグゼクティブ・リサーチャー
長田　三紀	特定非営利活動法人 東京都地域婦人団体連盟 事務局次長
西島　基弘	実践女子大学 生活科学部 学部長
沼尻　禎二	家電製品 PL センター 次長
早川　哲夫	麻布大学 生命・環境科学部 教授
平野　裕之	慶應義塾大学 大学院 法務研究科 教授
本城　昇	埼玉大学 経済学部 教授
渡辺　実	弁護士

●　分科会・専門委員（敬称略）

氏名	所属及び役職
相川　潔	くるま総合研究会 代表
新井　勝己	独立行政法人 製品評価技術基盤機構 生活・福祉技術センター 製品安全技術課 課長
井部　明広	東京都健康安全研究センター 食品化学部 部長
梅垣　敬三	独立行政法人 国立健康栄養研究所 情報センター センター長
遠藤　誠	独立行政法人 農林水産消費安全技術センター 消費者情報専門官
小川　武史	青山学院大学 理工学部 機械創造工学科 教授
小野田　元裕	財団法人 日本車両検査協会 東京検査所 所長
加藤　登	財団法人 化学技術戦略推進機構　高分子試験・評価センター 試験室長
木村　宇一郎	独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 安全第一部　安全性情報課 課長
合田　幸広	国立医薬品食品衛生研究所 生薬部 部長
西田　佳史	独立行政法人 産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター 人間行動理解チーム チーム長
藤倉　秀美	財団法人 電気安全環境研究所 研究部 信頼性評価業務担当 部長
堀口　逸子	順天堂大学 医学部 公衆衛生学教室 助教
松原　美之	総務省 消防庁 消防大学校消防研究センター 研究統括官
山中　龍宏	緑園こどもクリニック 院長

資料22

平成２２年度　商品テスト分析・評価委員会及び分科会実施状況一覧

	年月日	委員会・分科会	品目等
1	平成 22 年 4 月	食品・化学品関連分科会	風呂に入れるだけでラドン・ラジウム温泉になるとうたった商品（案）
2	平成 22 年 4 月	車両・乗り物関連分科会	乗用車の電子キーによるトラブルに注意！ －消費者アンケート等で見られた電子キー特有のトラブル－（案）
3	平成 22 年 4 月	家電・住生活品関連分科会	「電気こたつ」による重大事故の原因究明（案）
4	平成 22 年 4 月	家電・住生活品関連分科会	「片手なべ」による重大事故の原因究明（案）
5	平成 22 年 4 月	家電・住生活品関連分科会	「電気マット」による重大事故の原因究明（案）
6	平成 22 年 4 月	家電・住生活品関連分科会	電気ケトルによるやけど事故に注意！（テストデザイン）
7	平成 22 年 5 月	家電・住生活品関連分科会	電気ケトルによるやけど事故に注意！（案）
8	平成 22 年 6 月	車両・乗り物関連分科会	「折りたたみ自転車」による重大事故の原因究明(案)
9	平成 22 年 6 月	車両・乗り物関連分科会	パワーウインドウの安全性（案）
10	平成 22 年 7 月	本委員会	平成２３年度実施品目及び予定　他
11	平成 22 年 7 月	食品・化学品関連分科会	火山灰を含む洗顔料の使用に注意！（案）
12	平成 22 年 7 月	食品・化学品関連分科会	電子タバコの安全性を考える（案）
13	平成 22 年 7 月	食品・化学品関連分科会	二酸化塩素による除菌をうたった商品 －部屋等で使う据置タイプについて－（テストデザイン）
14	平成 22 年 8 月	家電・住生活品関連分科会	防災頭巾の安全性
15	平成 22 年 8 月	車両・乗り物関連分科会	「折りたたみ自転車」による重大事故の原因究明(案)
16	平成 22 年 9 月	被服・高分子素材品関連分科会	「加圧するパンツ」による重大事故の原因究明（案）
17	平成 22 年 9 月	被服・高分子素材品関連分科会	加圧を利用したスパッツの使い方に注意！（テストデザイン）
18	平成 22 年 10 月	車両・乗り物関連分科会	「子ども用自転車」による重大事故の原因究明（案）
19	平成 22 年 10 月	家電・住生活品関連分科会	「水泳用ゴーグル」による重大事故の原因究明（案）
20	平成 22 年 10 月	家電・住生活品関連分科会	「幼児用サンダル」による重大事故の原因究明（案）
21	平成 22 年 10 月	食品・化学品関連分科会	二酸化塩素による除菌をうたった商品 －部屋等で使う据置タイプについて－（案）
22	平成 22 年 11 月	車両・乗り物関連分科会	小径タイヤの折りたたみ自転車の安全性（案）
23	平成 22 年 11 月	家電・住生活品関連分科会	回転ハンガーの安全性（案）
24	平成 22 年 11 月	家電・住生活品関連分科会	住宅用火災警報器の設置について（テストデザイン）
25	平成 22 年 12 月	家電・住生活品関連分科会	包丁の柄が折れる事案について（案）
26	平成 23 年 1 月	被服・高分子素材品関連分科会	加圧を利用したスパッツの使い方に注意！（案）
27	平成 23 年 2 月	家電・住生活品関連分科会	電気炊飯器による子どものやけどに注意！（案）
28	平成 23 年 2 月	家電・住生活品関連分科会	住宅用火災警報器の設置について（案）
29	平成 23 年 3 月	食品・化学品関連分科会	葉酸を補給できるとうたった健康食品（案）
30	平成 22 年 3 月	食品・化学品関連分科会	子どもが使用することのあるアクセサリーに関する調査(第 2 回)(案)

資料23

外部試験機関へ委託したテスト

・定型的テスト

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
1	風呂に入れるだけでラドン・ラジウム温泉になるとうたった商品	水中のラドン濃度	鉱泉分析法指針
2		水中のラジウム濃度	文科省「放射能測定法シリーズNo.19　ラジウム分析法」
3		水質検査	水道法　他
4	花粉防御用眼鏡の縁で負傷	エッジテスト	ST-2002
5	アスベストの含有が疑われた化粧クリーム	アスベスト定性試験、含水率	JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」
6	自動車タイヤのハブボルトの破損	化学分析	JIS D 4220「自動車部品－ホイールー取付方法及び寸法」
7	電気ケトルによるやけど事故に注意！	電源コードの「折曲げ」「繰り返し巻き取り」	電気用品安全法
8	子ども用傘の中棒が折損	中棒の曲げ強度ほか	日本洋傘振興協議会(JUPA 基準)
9	毛玉ができやすい婦人用ズボン	ピリング試験	JIS L 1076「織物および編物のピリング試験方法」
10	五徳上で滑りやすいフライパン	静摩擦係数	JIS K 7125「プラスティックーフィルム及びシートー摩擦係数試験方法
11	チェーンが切れた電動自転車	チェーンの引張強さ	JIS D 9417「自転車用チェーン」
12	足置き部分が切れたベビーカー	取り付け強度	SG「乳母車の認定基準及び基準確認方法」
13	柄が折れた杖	SG 認定基準に基づく強度試験	SG「棒状つえの認定基準及び基準確認方法」
14	ガラス製果実酒びんの破裂	ガラスの組成分析	果実酒びんの「品質保証」
15	子ども用防災頭巾の安全性	防炎性能	日本防炎協会防炎製品品質性能基準
16		衝撃吸収性能	日本防炎協会防炎製品品質性能基準
17		使用済み検体の防炎性能	日本防炎協会防炎製品品質性能基準
18		使用済み検体の衝撃吸収性能	日本防炎協会防炎製品品質性能基準
19	痛みを感じた使い捨てコンタクトレンズ	細胞毒性試験	「医療用具の製造（輸入）承認申請に必要な生物学的安全性試験の基本的考え方について」(平成15 年 2 月 13 日医薬審発第0213001 号)
20	小径タイヤの折りたたみ自転車（A-RideX）の強度不足に注意！	エネルギー吸収試験	JIS D 9401「自転車ーフレーム」
21	足の感覚異常を起こした加圧するパンツ	伸び率測定	JIS L 1096「織物及び編物の生地試験方法」
22	縁台が動き転倒し骨折	安定性試験(JIS)	JIS S 1204「家具－いすー直立側のいす及びスツールの安定性試験方法」

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
23	異臭がする竹枕	防カビ剤及び漂白剤の定量	平成 19 年 11 月 13 日付食安監発第 1113001 号・食安基発第 1113001 号「割りばしに係る監視指導について」
24	UV カット率表示が疑われた帽子、パーカ	紫外線遮蔽率	アパレル製品等品質性能対策協議会による測定方法
25	電気ケトルから異臭	溶出試験	食品衛生法
26	折りたたみ自転車のペダルが折損	再現試験（ペダルの動的耐久試験）	JIS D 9416「自転車－ペダル」
27	金魚が続けて死ぬ金魚鉢	ヒメダカによる生存率試験	JIS K 0102「工場排水試験方法」（参考）
28	電気掃除機のホースの破断	耐圧縮試験	JIS C 9108「電気掃除機」
29		折曲げ試験	JIS C 9108「電気掃除機」
30	二酸化塩素による除菌をうたった商品-部屋等で使う据置タイプについて-	塩素系ガスの放散速度の経時変化	JIS K 0106「排ガス中の塩素分析方法」 OSHA Method No.ID-202
31		塩素の放散速度	JIS K 0106「排ガス中の塩素分析方法」 OSHA Method No.ID-202
32	マッサージしたら顔面が腫れた繭玉	繊維鑑別試験	JIS L 1030「繊維製品の混用率試験方法」
33	遮光率表示が疑われた遮光ネット	遮光率の測定	JIS L1055「カーテンの遮光性試験方法」（参考）
34	羽毛クッションからの吹出しで負傷	羽毛の吹出し耐久性試験	日本羽毛製品協同組合のダウンウエア吹出し試験
35	折りたたみ椅子の補強用の桟が破損	座面の静的強度試験	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」
36		座面の耐久性試験	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」
37		座面の耐衝撃性試験	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」
38		脚部の強度試験（前後方向）	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」
39		脚部の強度試験（左右方向）	JIS S 1203「家具－いす及びスツール－強度と耐久性の試験方法」
40	ミネラルを含む液体タイプの健康食品で嘔吐	急性経口毒性試験	OECD TG420
41		清涼飲料水の成分規格	食品衛生法
42		一般細菌数	食品衛生法
43	回転ハンガーの安全性	ハンガー部の耐荷重試験	SG「回転ハンガーの認定基準及び基準確認方法」
44		回転機構部の耐荷重試験	SG「回転ハンガーの認定基準及び基準確認方法」
45	回転ハンガーの安全性	ハンガー部の偏荷重試験	SG「回転ハンガーの認定基準及び基準確認方法」

	テーマ	テスト項目名	規格・基準名
46	冷たさの持続時間が短い首用冷却ベルト	保冷時間の調査	JIS S 3105「携帯用保冷具」
47	一升瓶の破損	歪み測定	JIS S 2305「炭酸飲料用ガラスびんのひずみ測定方法」（参考）
48	粘着テープの粘着力	粘着力	JIS Z 0237「粘着テープ・粘着シートの試験方法」
49	電気ケトルで沸かしたお湯から異臭	溶出試験	食品衛生法
50		金属の分析	水道法
51		有機物の分析	水道法
52	電子レンジ用の皿の絵柄から鉛溶出	有害物質溶出試験	食品衛生法
53	電気ケトルで沸かしたお湯からプラスチック臭	溶出試験	食品衛生法
54	給油ガソリンの品質	ガソリンの品質試験	揮発油等の品質の確保等に関する法律
55	部品が脱落した玩具のラッパ	ST 基準適合可否	ST-2002
56	階段でスリッパが滑り骨折	耐滑試験	JIS T 8101「安全靴」（参考）

・専門的テスト

	テーマ	項目名
1	風呂に入れるだけでラドン・ラジウム温泉になるとうたった商品	被ばく線量率
2	塩素が発生する部屋用除菌剤	塩素臭の原因物質
3	自転車のハンドルの破損	破断面観察
4	不完全燃焼を起こした給湯器	動作確認及び分解調査
5	自動車タイヤのハブボルトの破損	破断面観察
6	異臭がするオイルヒーター	発生する化学物質の測定
7	折りたたみ自転車のハンドル付近が破損	走査電子顕微鏡による破面の観察
8	子ども用傘の中棒が折損	破断面観察
9	白髪染めで頭皮にアレルギーを発症	酸化染料の定量
10	白髪染めで頭皮と顔にアレルギーを発症	酸化染料の定量
11	柄が折れた杖	破断面観察
12	電子タバコの安全性を考える	ニコチン定量試験
13	火山灰を含む洗顔料	粒度分布
14	ガラス製果実酒びんの破裂	ガラスの破面解析
15	小径タイヤの折りたたみ自転車（A-RideX）の強度不足に注意！	ミクロ観察
16	足の感覚異常を起こした加圧するパンツ	被服圧測定
17	異臭がする竹枕	臭い物質の同定
18	電気ケトルから異臭	臭気成分の分析
19	顔が赤く腫れ上がった化粧クリーム	ハイドロキノンの定量
20		皮膚一次刺激性試験
21	折りたたみ自転車のペダルが折損	ペダル軸の破面観察
22	子ども用自転車の後輪が浮いて転倒し負傷	ハブダイナモの破断面の電子顕微鏡観察

	テーマ	項目名
23	二酸化塩素による除菌をうたった商品-部屋等で使う据置タイプについて-	二酸化塩素の放散速度
24	改善されたという口ゴムがきつい乳児用ミトン	ゴムの着衣圧
25	走行中に白煙が上がったオートバイ	ｴﾝｼﾞﾝｵｲﾙの分析
26	異臭と色落ちがするすだれ	におい成分の分析
27	庭作りの枕木から異臭	ベンゾピレン等
28	喉に痛みを感じた電子タバコ	ニコチンの定量
29	塗装が疑われた玉砂利	蛍光Ｘ線分析
30		Ｘ線回折
31	自転車のディレーラハンガー（変速器を取り付ける台座）が破損して転倒	ﾃﾞｨﾚｰﾗﾊﾝｶﾞｰの破面観察
32	自転車のフレームの折損	破断面解析
33	一升瓶の破損	破面観察
34	電気ケトルで沸かしたお湯から異臭	臭気成分の分析
35	ダニを捕獲するシートの性能	ダニの計数
36		誘引性試験
37	電気ケトルで沸かしたお湯からプラスチック臭	臭気成分の分析
38	靴下に付着していた異物	付着物の調査
39	部品が脱落した玩具のラッパ	リードの破断面の調査及び組成調査
40	違和感が生じた使い捨てコンタクトレンズ	眼刺激性試験
41	ローヤルゼリーの未配合が疑われた健康食品	10-ヒドロキシ-2-デセン酸量

消費生活センターの商品テスト事例

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
1	乾燥野菜の残留農薬	近年、インスタント食品の普及に伴い、乾燥野菜の需要が増えている。厚生労働省関係の報告の中に乾燥野菜から数種類の農薬が検出された事例がある。そのため、市販されている乾燥野菜の残留農薬のテストを実施した。	北海道立消費生活センター
2	手作りだしの品質	手作りダシ(煮干し、昆布又はカツオを使用)とダシの素を使ったダシの遊離アミノ酸とミネラルを測定し、消費者への情報提供の一助とする。	北海道立消費生活センター
3	ソフトクリームの品質	店頭で販売されているソフトクリームについては食品衛生法の定義がなく成分規格もない。そこで、ソフトクリームの主成分である粗脂肪分と乳脂肪分、脂肪酸組成、糖脂肪分についてテストを実施した。	北海道立消費生活センター
4	卓上型加湿器の品質	加湿器は加湿量によって適畳が定められている。また、気化式、加熱式、超音波式などがあり、それぞれの方法に特徴がある。そこで、卓上加湿器の性能や安全性を調べ、消費者への情報提供の一助とする。	北海道立消費生活センター
5	LED 電球の品質	LED 電球は白熱電球よりも電気代、寿命が優れており、蛍光型電球のデメリットがないといわれている。そこで LED 電球と参考として蛍光型電球、白熱電球の比較テストを実施した。	北海道立消費生活センター
6	乳幼児衣料品のホルムアルデヒド	ホルムアルデヒドは衣料品の接着剤やプリント加工、防縮・防しわ加工に使用されているが、残留すると接触性皮膚炎の原因となる。そこで現在販売されている比較的安価な子供衣料品のホルムアルデヒドの溶出量のテストを実施した。	北海道立消費生活センター
7	家具類の耐震補助器具	近い将来発生が予想される大地震に備え、県民の防災意識を高め、被害を最小限に止めるため、家庭でできる対策として昨年度の「家具類の転倒防止対策器具」に引続き、耐震補助器具である「扉・引出し開放防止器具、ガラス飛散防止フィルム」について、製品の種類、特徴、正しい使用方法などを調査した。	岩手県立県民生活センター
8	美顔器の安全性調査	美顔器を使用して、肌あれやかぶれが発生したとの相談事例があり、その原因として金属アレルギーの可能性が考えられるため、美顔器に人工の汗を使用し、アレルギーを起こしやすいといわれている金属の溶出試験を実施した。 ニッケル、コバルト、クロム、ゲルマニウムなど 12 金属	かながわ中央消費生活センター
9	トイレの詰まり原因調査	便器洗浄用などの紙類等は、トイレに流せるとの振れ込みで消費者の間に普及しているが、実際に流すと詰まりを起こすことなども聞くため、トイレに流す可能性のある紙製品の水に対するほぐれやすさにより、どのようにしてトイレが詰まるのか調査した。 水に対するほぐれやすさ(トイレットペーパーの水に対するほぐれやすさに関する規格(JIS P4501)に準じて実施)	かながわ中央消費生活センター
10 11 12	加湿器	加湿器は冬季の暖房による室内の乾燥防止などのために使用されており、いろいろな機能が付いた多種多様な商品が店頭に並べられている。加湿方式には、「超音波式」、「スチーム式」、「スチームファン式」などがあり、最近では、熱い蒸気が出ないと安全性をうたった「気化式」や「ハイブリッド式」が多く見られ、購入の際に迷うことも多い。また、加湿器によるヤケドなどの危害情報もある。このため、加湿方式による特徴や安全性、使用性などについてテストを実施した。 表示、仕様、価格、性能(消費電力、加湿量および加湿効率、電気料金)、安全性(本体各部の温度、転倒試験、安全機能)、使用性	※富山県消費生活センター ※石川県消費生活支援センター ※福井県費生活センター
13	炭酸ソーダを用いた洗濯	平成 20 年度に商品研究会で「重曹を用いた洗濯テスト」を行ったが、重曹を用いても、洗濯での洗浄率の向上はほとんど認められなかった。しかし、当テスト結果から、洗濯液の pH(水素イオン指数)が大きくなる程、洗浄率が向上することがわかった。そこで、自然界に存在し、食品添加物や浴用剤に使われている「炭酸ソーダ」に着目し、家庭洗濯で通常の洗剤を使用した場合と炭酸ソーダを添加した場合の洗浄率などのテストを実施した。	石川県消費生活支援センター

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
14	家庭用電球	白熱電球と同じ明るさとうたった蛍光電球が暗いとの苦情やLED 電球は本当にどれくらい省エネになるのかなどの問い合わせが寄せられている。このため、種類の多い60W 形相当の家庭用電球について、白熱電球、蛍光電球、LED 電球の明るさや省エネ度などの比較テストを実施した。	石川県消費生活支援センター
15	非常用食料	大きな自然災害が頻発しており、家庭での防災対策が一層重要といわれている。市販非常用食品の表示、価格、使用性等についてテストした。	福井県消費生活センター
16	大人用紙おむつ	高齢化が進み排泄ケアに不可欠な大人用紙おむつの需要が年々増加しているが、使用者の体型や身体の状態、介護方法等を考慮すると、多種多様な大人用紙おむつを前に迷うことも多い。表示や価格、品質についてテストした。	福井県消費生活センター
17	豆類	豆や豆の加工品のミネラル含有量を調査。大豆、いんげん豆、あずき等の豆類はカリウム、鉄、亜鉛などを多く含有。煮豆や豆腐などの加工品は加工前の大豆に比べミネラルは少ない量でした。	静岡県環境衛生科学研究所
18	栄養補助食品	過剰に摂取すると健康への影響が懸念されているビタミン A とβカロテンを含有するサプリメント12 銘柄の成分量を調査した結果、ビタミンAとβカロテン量は商品に記載されているとおりの量でした。	静岡県環境衛生科学研究所
19	エコバッグ	エコバッグの商品選択に役立てるため、エコバッグの引張り強度や防水性をテスト。生地が厚いもの、裏地付きのものは引張り強度が大きく、ポリプロピレン素材のエコバッグは防水性が高いという結果が出た。	静岡県環境衛生科学研究所
20	菓子袋	容器の角が 90 度と丸くカットしたものにより傷の付き方が違うかをみるために進入力の測定検査をし、角が 90 度のものはカッターの刃と同程度の値のものがあり、丸くカットされたものより鋭利であることを確認した。	兵庫県立健康生活科学研究所 生活科学総合センター
21	カセットこんろ	古いカセットこんろのガス漏れの再現テストを実施したところ、カセットこんろ側のゴム製リングが経年劣化により硬化したためにボンベとの接合部分でガス漏れを生じていたことを確認した。	兵庫県立健康生活科学研究所 生活科学総合センター
22	米の新鮮度	古米ではないかと相談があった。 pH 指示薬による新鮮度判定。 収穫米(2009 秋)、収穫米(2008 秋)等と比較テストを実施。	熊本県環境生活部食の安全･消費生活課　消費生活センター
23	肌着の吸汗・速乾性	「吸汗・速乾の表示のある肌着を購入したが、全く汗を吸わない」という相談を受け、バイレック法により吸水速度、拡散性残留水分率で速乾性のテストを実施。 (相談品の他、比較のために肌着 4 点を購入。)	熊本県環境生活部食の安全･消費生活課　消費生活センター
24	鮭の脂肪含有量の測定	パック詰め鮭の脂肪含有量を測定し鮭の購入時の情報提供を行う。	札幌市市民まちづくり局市民生活部　消費者センター
25	湯温計	湯温計の適温表示をテストし誤差がどの程度あるかを調査	札幌市市民まちづくり局市民生活部　消費者センター
26	電子レンジ用調理器具	■テストの狙い ・電子レンジ用調理器具について、消費者団体等と共同でテストを行うことにより消費者の目線で商品を判断し商品選択の意識を高め、消費者への情報提供を行う。 ■テスト項目 ・価格　・取扱説明書の有無　・注意喚起マーク絵表示の有無　・加熱目安時間　・耐熱温度/耐冷温度　・品質表示　・商品表示　・取扱い上の注意　・味　・使い勝手	横浜市消費生活総合センター
27	米粉パン・スイーツ試買テスト	米粉の理解と利用拡大により、米の消費拡大･地産地消をめざす。 アンケート・店頭調査、栄養成分検査、食味と価格の評価。	新潟市消費生活センター

件数	件名	内容・テスト項目等	実施センター
28	野菜(共同テスト)	消費者団体との共同研究「地産地消を考える」の一環として商品テストを実施。福岡県産野菜と他県産の野菜の比較テストを行った。 外観検査3項目　食味検査5項目	福岡市消費生活センター
29	焼きのり(14点)	カドミウム・鉛	函館市消費生活センター
30	とろろ昆布(10点)	カドミウム・鉛	函館市消費生活センター
31	カップめんの商品テスト	18種類のカップめんの表示記載の確認、天秤計による重量測定、塩分計による塩分を調べる。	苫小牧市消費者センター
32	みそ汁の塩分量	■塩分を控えた食生活の呼びかけのため ■減塩、普通、濃い味の3種を試飲	苫小牧市消費者センター
33	みかんの糖度測定	■糖度計に親しむ ■みかんを食べて糖度を予想	苫小牧市消費者センター
34	プチ加湿器の試用テスト	手頃な価格のプチ加湿器の使い勝手と効果、電気代を調べる。	苫小牧市消費者センター
35	ベビーカー(輸入品)	ベビーカーに子供を乗せ道路を押していたときに、後輪付近のフレームのネジが外れた。外れた原因の調査。	船橋市消費生活センター
36	市販加工食品の指定添加物(着色料)の検出	日常購入される加工食品の指定添加物の着色料の検出と検出方法の検討を行った。	豊島区消費生活センター
37	よもぎ粉の緑色が合成着色料によるものか否か	合成着色料の有無	清瀬市消費生活センター

※：共同テスト

○業務別決算額（決算報告書）

（単位：円）

区分	平成２１年度					平成２２年度					対前年度増△減額	
	支出決算額	収入決算額	図書雑誌出版収入	研修宿泊収入	事業外収入	支出決算額	収入決算額	図書雑誌出版収入	研修宿泊収入	事業外収入	支出決算額	収入決算額
業務	2,360,904,495	162,812,793	122,752,853	40,059,940	0	2,461,568,116	183,342,922	137,905,512	45,437,410	0	100,663,621	20,530,129
広報業務	160,349,010	119,433,067	119,433,067	0	0	163,827,756	134,872,579	134,872,579	0	0	3,478,746	15,439,512
情報・分析業務	1,482,000,217	1,342,970	1,342,970	0	0	1,586,751,826	1,073,400	1,073,400	0	0	104,751,609	△ 269,570
相談業務	153,336,001	0	0	0	0	231,126,644	0	0	0	0	77,790,643	0
商品テスト業務	280,773,461	1,010	1,010	0		115,914,391	1,010	1,010	0		△ 164,859,070	0
研修業務	95,243,078	40,059,940		40,059,940	0	107,011,452	45,437,410		45,437,410	0	11,768,374	5,377,470
企画調整業務	139,252,051	1,975,806	1,975,806	0	0	204,857,263	1,958,523	1,958,523	0	0	65,605,212	△ 17,283
ＡＤＲ経費	49,950,677	0	0	0	0	52,078,784	0	0	0	0	2,128,107	0
一般管理費	212,348,064	53,712,979	0	0	53,712,979	220,687,041	35,181,357	0	0	35,181,357	8,338,977	△ 18,531,622
人件費	1,252,546,351	0	0	0	0	1,252,025,523	0	0	0	0	△ 520,828	0
役職員給与	980,994,296	—	—	—	—	976,365,218	—	—	—	—	△ 4,629,078	—
法定福利費	120,794,455	—	—	—	—	125,497,305	—	—	—	—	4,702,850	—
退職手当	150,757,600	—	—	—	—	150,163,000	—	—	—	—	△ 594,600	—
	3,825,798,910	216,525,772	122,752,853	40,059,940	53,712,979	3,934,280,680	218,524,279	137,905,512	45,437,410	35,181,357	108,481,770	1,998,507

（注）決算額には前年度契約済繰越額を含み、翌年度契約済繰越を含んでいない。

〇対前年度決算額に対する主な増減内訳

区分	増減額 （単位：円）	主な増減内訳
業務経費	100,663,621	
広報業務	3,478,746	HP刷新支援業務（△5,229千円）、出前講座業務委託費（△18,966千円）、「見守り事業」業務委託費（△9,424千円）、「くらしの豆知識」ﾃﾞｻﾞｲﾝﾚｲｱｳﾄ（△1,751千円）、HPﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰ借料（2,205千円）、HP更新経費（33,352千円）、固定資産取得費（HP機器）（2,610千円）
情報・分析業務	104,751,609	PIO－NET2010関連外部委託（△514,640千円）（構築・導入△386,210千円、端末導入△81,805千円、調達支援△34,647千円、ﾃﾞｰﾀｾﾝﾀｰ環境設定△11,978千円）、）、PIO-NET2010運営関連（277,906千円）（機器借料135,225千円、運用保守142,681千円）、事故情報DB構築（193,809千円）、早期警戒ｼｽﾃﾑ構築147,167千円
相談業務	77,790,643	土日休日相談運営（60,369千円）、非常勤職員手当（17,484千円）
商品テスト業務	△ 164,859,070	商品ﾃｽﾄ機器購入費（△172,905千円）、外部テスト委託（8,559千円）
研修業務	11,768,374	非常勤職員手当・事務補助員賃金（5,621千円）、講師謝金（3,378千円）、研修会場借入（1,915千円）、研修旅費（1,264千円）
企画調整業務	65,605,212	消費生活相談専門家の巡回事業（59,094千円）、40周年事業経費（3,657千円）
ＡＤＲ経費	2,128,107	委員手当等（1,071千円）、旅費（1,199千円）
一般管理費	8,338,977	固定資産取得（宿泊室ｴｱｺﾝ（前年度繰越分）（3,330千円）、会計ｼｽﾃﾑ更新（1,723千円））、借上宿舎料（4,530千円）

対前年度比較分析表

（単位:円）

【貸借対照表】	平成21年度①	平成22年度②	増減額（②－①）	備　考（単位：千円）
資産の部				
Ⅰ　流動資産	10,460,282,886	9,640,179,889	△ 820,102,997	
現金及び預金	10,384,108,624	9,458,848,977	△ 925,259,647	
有価証券	5,000,780	116,027,628	111,026,848	1年以内に満期となる有価証券（H21：1口（国債）H22：4口（国債））
売掛金	47,114,793	44,525,035	△ 2,589,758	くらしの豆知識（△1,726）、国民生活（△389）、ﾘｰﾌﾚｯﾄ著作権（717）、その他（出版物・施設利用）（△1,191）
たな卸資産	7,155,063	11,629,047	4,473,984	くらしの豆知識（4,917）、調査研究報告書（△480）、消費生活年報（△110）
前払費用	1,569,240	1,911,240	342,000	借上宿舎料（342）
未収収益	14,967,111	6,955,170	△ 8,011,941	定期預金（△8,004）
その他の未収入金	367,275	282,792	△ 84,483	
Ⅱ　固定資産				
1　有形固定資産	9,453,078,838	9,145,628,903	△ 307,449,935	
建物	2,170,488,341	2,170,488,341	0	
減価償却累計額	377,950,336	464,318,300	86,367,964	
構築物	878,789,641	878,789,641	0	
減価償却累計額	498,228,888	546,164,445	47,935,557	
機械装置	104,046,583	104,046,583	0	
減価償却累計額	99,003,590	100,188,815	1,185,225	
車両運搬具	2,162,755	2,162,755	0	
減価償却累計額	1,615,575	1,938,690	323,115	
工具器具備品	856,813,997	889,306,784	32,492,787	新規取得（33,975）、除却（△1,482）
減価償却累計額	501,673,370	608,940,380	107,267,010	
リース資産(工具器具備品)	910,887,478	618,781,381	△ 292,106,097	新規取得分（99,086）、ﾘｰｽ期間満了による除却（△391,192）
減価償却累計額	335,962,198	140,479,952	△ 195,482,246	
立木竹	4,324,000	4,084,000	△ 240,000	松3本
土地	6,340,000,000	6,340,000,000	0	
2　無形固定資産	252,000	252,000	0	
電話加入権	252,000	252,000	0	
3　投資その他の資産	248,378,556	137,019,082	△ 111,359,474	
投資有価証券	247,972,076	136,815,842	△ 111,156,234	国債1口新規計上（5,057）、1年以内に満期となる有価証券（国債）が4口（△116,028）あるため、流動資産に計上、償却減価法による調整額（△229）
長期前払費用	406,480	203,240	△ 203,240	火災保険料
固定資産合計	9,701,709,394	9,282,899,985	△ 418,809,409	
資産合計	20,161,992,280	18,923,079,874	△ 1,238,912,406	

対前年度比較分析表

（単位:円）

【貸借対照表】	平成21年度①	平成22年度②	増減額（②－①）	備　考（単位：千円）
負債の部				
Ⅰ　流動負債	10,586,261,115	9,615,687,799	△ 970,573,316	
運営費交付金債務	9,508,986,086	8,999,220,563	△ 509,765,523	前年度債務△816,809（収益化（△809,016）、資産見返負債振替（△7,792））、22年度予算額債務計上（3,201,746）、221年度債務△2,894,702（収益化（△2,868,519）、資産見返負債振替（△26,182））
未払金	877,891,940	456,469,160	△ 421,422,780	業務経費関係（△386,093）、一般管理費関係（△3,663）、固定資産関係（△28,310）、退職金（△3,354千円）
未払費用	21,024,765	20,393,777	△ 630,988	給与関係（超勤、社会保険料事業主負担分）（△420）、光熱水費（△458千円)、後納郵便料金（537千円）
未払消費税等	1,884,400	2,076,500	192,100	
前受金	728,700	812,400	83,700	借上宿舎料
預り金	16,181,410	16,262,430	81,020	源泉所得税（363）、地方税（△430千円）、社会保険料（221）
短期リース債務	159,563,814	120,452,969	△ 39,110,845	22新規ﾘｰｽ資産分（19,772）、既存ﾘｰｽ資産分（△58,883）
Ⅱ　固定負債	886,982,446	749,852,931	△ 137,129,515	
資産見返負債	464,756,265	386,542,839	△ 78,213,426	
資産見返運営費交付金	464,756,265	386,542,839	△ 78,213,426	22取得運営費交付金債務振替（33,975）、資産見返交付金戻入（△112,188千円）
長期リース債務	422,226,181	363,310,092	△ 58,916,089	既存ﾘｰｽ資産短期振替（△120,321千円）、新規ﾘｰｽ資産計上（61,405千円）
負債合計	11,473,243,561	10,365,540,730	△ 1,107,702,831	
純資産の部				
Ⅰ　資本金	9,166,546,650	9,166,546,650	0	
政府出資金	9,166,546,650	9,166,546,650	0	
Ⅱ　資本剰余金	△ 485,488,753	△ 618,101,411	△ 132,612,658	
資本剰余金	707,284,382	705,711,962	△ 1,572,420	
損益外減価償却累計額（△）	△ 1,191,387,135	△ 1,322,427,373	△ 131,040,238	
損益外減損損失累計額（△）	△ 1,386,000	△ 1,386,000	0	電話加入権分
資本剰余金合計				
Ⅲ　利益剰余金	7,690,822	9,093,905	1,403,083	
積立金	4,150,541	7,690,822	3,540,281	
当期未処分利益	3,540,281	1,403,083	△ 2,137,198	
（うち当期総利益）	3,540,281	1,403,083	△ 2,137,198	リース会計による損益差額（△2,137）
純資産合計	8,688,748,719	8,557,539,144	△ 131,209,575	
負債純資産合計	20,161,992,280	18,923,079,874	△ 1,238,912,406	